

【試合結果】

男子 決勝トーナメント		決勝																
日時	平成30年3月25日 (日)	14:20 ~																
会場	函館アリーナ																	
結果	札幌地区選抜 1年生	<table border="0"> <tr><td>15</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>10</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>20</td><td>—</td><td>7</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	15	—	14	10	—	16	15	—	14	20	—	7	OT			石狩地区選抜 1年生
	15	—	14															
10	—	16																
15	—	14																
20	—	7																
OT																		
	60	51																
審判	主審 佐藤淳		副審 松井晋吾															

第36回北海道ジュニアオールスターバスケットボール大会



【ボックススコア】

札幌地区選抜		1年生						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	手嶋 一颯	×	0					
5	平田 峻大	×	8		4		2	1
6	寺崎 慶雄	／	0					
7	青島 諒	×	0				1	
8	杉本 健真	／	0				2	
9	小松 雄大	／	9		4	1	3	
10	館山 由青	／	0				1	1
11	土肥 優斗	／	1			1		
12	篠原 壘	×	16	1	4	5		4
13	松田 雄馬	／	0					
14	小谷 佳史	／	0					
15	千葉 遥仁	／	9		3	3	1	2
16	宇藤 孝志郎	×	5	1	1			2
17	川口 皇清	／	9	1	3		1	2
18	長田 拓磨	／	3	1				1
HC	山田 秀剛							
合計			60	4	19	10	11	13

石狩地区選抜		1年生						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	長谷 匡悟	／	13	1	5			4
5	山田 敬互	×	2		1			1
6	田中 孝法	×	2		1			1
7	堀井 敬太	×	10		3	4	4	3
8	佐伯 陽	／	1			1	2	
9	瀬尾 煌太	／	2		1		2	
10	有澤 明希	／	8		4		4	4
11	長谷川 心禅	／	0					
12	山口 柊也	／	0					1
13	田原 凜人	／	0					
14	保倉 徠人	／	2		1		2	2
15	本間 翔貴	×	4		2		4	
16	森下 蓮	／	2		1		1	
17	篠塚 大空	／	0					
18	鶴飼 琉正	×	5		2	1	6	
HC	瀬尾 千晶							
合計			51	1	21	6	25	16

出場 ×:スターター    /:途中出場    DNP:出場なし  
 得点 3P:3ポイントシュート    2P:2ポイントシュート    FT:フリースロー

【戦評】

札幌選抜対石狩選抜の決勝戦。ここまで圧倒的な力で勝ち上がってきた札幌に石狩がどのような戦いを見せるかが注目される。1Q 開始3分お互いに速い展開を見せるが、どちらも主導権を握らせない。中盤、札幌⑩宇藤の3Pが決まると徐々に札幌がペースをつかむ。石狩も粘り強いDFで簡単には譲らない。更に⑦堀井のジャンプシュートで逆転。札幌⑩宇藤の鋭いドライブで再逆転し終了。15-14札幌1点リード。  
 2Q 開始直後、石狩の連続ターンオーバーにより、札幌が5点差をつける。残6:38、石狩ベンチタイムアウトを請求。その後2分間両チーム無得点が続く。そこから石狩の速攻が3本連続決まり20-19逆転する。石狩が高さを生かし、ゴール下のシュートを決める。さらに残1:10、④長谷の3Pが決まり10点差とリードを広げる。ここで札幌タイムアウト。その後、札幌が立て直し5点差と追い上げ前半終了。  
 3Q しばらく一進一退の攻防が続く。どちらも重い雰囲気の中でのバスケットとなる。共に打開策として選手の入れ替えを行い様子を見る。そのなかで札幌⑫篠原の3Pで1点差とする。しかし、石狩④長谷の巧みなショットで主導権を握らせない。44-40石狩リード。  
 4Q 出だし石狩⑭保倉のロングパスから速攻がきまり点差を広げる。8点差となったところで札幌が後半1回目のタイムアウト。札幌のDFが機能し、石狩のミス誘発。残5:38で2点差に縮める。石狩タイムアウト。残4分、札幌⑪川口の3Pでついに逆転。札幌が連続10得点で試合の流れを一気に変える。札幌は、点差をキープするため、時間をしっかりとコントロールしたオフェンスで優勝をつかみ取った。両チームの最後まで諦めない、中学生らしい戦いぶりが印象的な試合であった。